

乳癌 2024.7

EC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
				休薬
①	生食 100ml 1本	ルート確保用	●	
②	パロノセトロン 0.75mg/バッグ 50mL 1袋 ガスター 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	側管から 15分かけてDiv	●	
③	生食 50mL 1本 エピルビシン 90mg/m ²	側管から 全開でDiv	●	
④	5%G 250mL 1本 エンドキサン 600mg/m ²	側管から 60分かけてDiv	●	

FEC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
				休薬
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	
②	パロノセトロン 0.75mg/バッグ 50mL 1袋 ガスター 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	側管から 15分かけてDiv	●	
③	生食 50mL 1本 エピルビシン 75or100mg/m ²	側管から 全開でDiv	●	
④	生食 100mL 1本 フルオロウラシル 500mg/m ²	側管から 60分かけてDiv	●	
⑤	5%G 250mL 1本 エンドキサン 500mg/m ²	側管から 60分かけてDiv	●	

TC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	休薬
②	グラニセトロン3mg/バッグ 100mL 1袋 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	側管から 15分かけてDiv	●	
③	生食 250mL 1袋 ドセタキセル 75mg/m²	側管から 60分かけてDiv	●	
④	5%G 250mL 1本 エンドキサン 600mg/m²	側管から 60分かけてDiv	●	

weekly PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール7日	
			Day1	2...7
①	レスタミンコーワ 50mg (10mg 5T)	化学療法前内服	●	休薬
②	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	
③	生食 50mL 1本 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	側管より 15分かけてDiv	●	
④	生食 100mL 1本	側管より 30分かけてDiv	●	
*過敏症予防のために(レスチン・ファモチジン・デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。				
⑤	生食 250mL 1袋 パクリタキセル 80mg/m²	側管より 1時間かけてDiv	●	

DOC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	休薬
②	生食 250mL 1袋 ドセタキセル 60~75mg/m²	1時間かけてDiv	●	
③	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	

ハラヴェン

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日		
			Day1	8	9.....21
①	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	●	休薬
②	生食 50mL 1本 ハラヴェン 1.4mg/m ²	全開でDiv	●	●	
③	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	●	

アバスチン・weekly PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール28日				
			Day1	8	15	16・・・28	
①	レスタミンコーワ 50mg (10mg 5T)	化学療法前内服	●	●	●	休薬	
②	生食 100mL 1本	ルート確保・キープ	●	●	●		
③	生食 50mL 1本 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	15分かけてDiv	●	●	●		
④	生食 100mL 1本	30分かけてDiv	●	●	●		
*過敏症予防のために(レスタミン・ファモチジン・デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。							
⑤	生食 250mL 1袋 パクリタキセル 60～80mg/m ²	1時間かけてDiv	●	●	●		
⑥	生食 20mL 1A	フラッシュ	●		●		
⑦	生食 100mL 1本 アバスチン 10mg/kg	初回は90分かけてDiv 2回目60分(忍容性良好時) 3回目以降30分(同上)	●		●		

nab-PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	休薬
②	生食 100mL 1本	アブラキサン溶解用 1Vに付き20mLで溶解	●	
	アブラキサンの溶解に使用した生食100mLから残りの生食を全部抜き取る。 その後、懸濁したアブラキサンを空の生食容器に泡立てないように入れる。			
	アブラキサン 260mg/m ²	30分かけてDiv	●	
③	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	

VNR

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日		
			Day1	8	9・・・21
①	生食 500mL 1本	ルート確保 ②終了後1時間でDiv	●	●	休薬
②	生食 50mL 1本 ロゼウス 25mg/m²	①の側管から 全開でDiv	●	●	

GEM

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日		
			Day1	8	9・・・21
①	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	●	休薬
②	5%ブドウ糖液 100mL 1本 ゲムシタビン 1250mg/m²	30分かけてDiv	●	●	
③	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	●	

Tri-weekly HER

	薬剤	投与方法/投与日	Day1	22	43
①	生食 100mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●		
②	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本 (溶解用) トラスツズマブ 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	初回は90分でDiv 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降 30分まで短縮できる	●	●	●

weekly HER

	薬剤	投与方法/投与日	Day1	22	43
①	生食 100mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●		
②	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本 (溶解用) トラスツズマブ 初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	初回は90分でDiv 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降 30分まで短縮できる	●	●	●

PER・HER

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	休薬
②	生食 250mL 1袋 パーゼタ 初回 840mg/body 2回目以降 420mg/body	側管より 初回は60分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●	
③	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本（溶解用） トラスツズマブ 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	側管より 初回は90分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●	

PER・HER・DOC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	休薬
②	生食 250mL 1袋 パーゼタ 初回 840mg/body 2回目以降 420mg/body	側管より 初回は60分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●	
③	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本（溶解用） トラスツズマブ 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	側管より 初回は90分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●	
④	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	側管より 15分かけてDiv	●	
⑤	生食 250mL 1袋 ドセタキセル 60~75mg/m ²	側管から 60分かけてDiv	●	

PER・HER・ハラヴェン

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日		
			Day1	Day8	9...21
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	●	休薬
②	生食 250mL 1袋 パーゼタ 初回 840mg/body 2回目以降 420mg/body	側管より 初回は60分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●		
③	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本（溶解用） トラスツズマブ 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	側管より 初回は90分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●		
④	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	側管より 15分かけてDiv	●	●	
⑤	生食 50mL 1本 ハラヴェン 1.4mg/m ²	側管から 全開	●	●	

PER・HER・weekly PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日			
			Day1	8	15	16・21
						休薬
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	●	●	
②	生食 250mL 1袋 パーゼタ 初回 840mg/body 2回目以降 420mg/body	側管より 初回は60分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●	休薬		
③	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本（溶解用） トラスツズマブ 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	側管より 初回は90分でDiv 忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮できる	●			
④	レスタミンコーワ 50mg(10mg 5T)	⑤開始前内服	●	●	●	
⑤	生食 50mL 1本 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg(3.3mg 3A)	側管より 15分かけてDiv	●	●	●	
⑥	生食 100mL 1本	側管より 30分かけてDiv	●	●	●	
*過敏症予防の為に(レスタミン・ファモチジン・デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。			●	●	●	
⑦	生食 250mL 1袋 パクリタキセル 80mg/m ²	側管より 1時間かけてDiv	●	●	●	

HER・weekly PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール7日	
			Day1	2・・・7
①	レスタミンコーワ 50mg (10mg 5T)	化学療法前内服	●	休薬
②	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	
③	生食 50mL 1本 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	側管より 15分かけてDiv	●	
④	生食 100mL 1本	側管より 30分かけてDiv	●	
*過敏症予防のために(レスタミン・ファモチジン・デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。				
⑤	生食 250mL 1袋 パクリタキセル 80mg/m ²	側管より 1時間かけてDiv	●	
⑥	生食 250mL 1袋 注射用水100mL1本(溶解用) トラスツズマブ 初回4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	側管より 初回は90分でDiv 忍容性が良好であれば、 2回目以降30分まで短縮できる	●	

HER・DOC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	休薬
②	生食 250mL 1袋 ドセタキセル 60~75mg/m ²	1時間かけてDiv	●	
③	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本 (溶解用) トラスツズマブ 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	初回は90分でDiv 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降30分まで短縮できる	●	
④	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	

HER・VNR

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日		
			Day1	8	9.....21
①	生食 500mL 1本	ルート確保、③終了後1時間でDiv	●	●	休薬
②	生食 50mL 1本 ロゼウス 25mg/m ²	①の側管から全開でDiv	●	●	
③	生食 250mL 1袋 注射用水 100mL 1本 (溶解用) トラスツズマブ 初回8mg/kg 2回目以降6mg/kg	①の側管から初回は90分でDiv 忍容性が良好であれば、2回目以降30分まで短縮できる	●		

カドサイラ

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	休薬
②	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	側管より15分かけてDiv	●	
③	生食 250mL 1袋 カドサイラ 3.6mg/kg	側管よりDiv 初回は90分 2回目以降30分 (忍容性良好時)	●	

テセントリク・nab-PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール28日			
			Day1	8	15	16・・・28
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	●	●	休薬
②	生食 250mL 1袋 テセントリク 840mg/body	側管① 初回 60分かけてDiv 2回目以降は30分 (忍容性良好時)	●		●	
③	生食 50mL 1本	側管② フラッシュ用	●		●	
④	生食 100mL 1本	アブラキサン溶解用 1Vに付き20mLで溶解	●	●	●	
	アブラキサンの溶解に使用した生食100mLから残りの生食を全部抜き取る。 その後、懸濁したアブラキサンを空の生食容器に泡立てないように入れる。					
	アブラキサン 100mg/m ²	側管② 30分かけてDiv	●	●	●	

エンハーツ

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2・・・・・・21
①	パロノセトロンバッグ 0.75mg 50mL 1袋 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	休薬
②	5%ブドウ糖液 50mL 1本	フラッシュ用	●	
③	5% Tz 100mL 1本 注射用水 20mL(溶解用1V:5mL) エンハーツ 5.4mg/kg	初回は90分Div 2回目以降30分Div (忍容性良好時)	●	
④	5%ブドウ糖液 50mL 1本	フラッシュ用	●	

CPT-11

	薬剤	投与方法/投与日	1クール28日			
			Day1	8	15	16・・・28
①	グラニセトロン3mgバッグ100mL 1袋 デキサート 6.6mg (3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	●	●	休薬
②	5%ブドウ糖 250mL 1本 イリノテカン 100mg/m ²	90分かけてDiv	●	●	●	
③	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	●	●	

キイトルーダ・PTX

	薬剤	投与方法/投与日	1クール84日												
			Day1	8	15	22	29	36	43	...	57	64	71	...	
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		
②	生食 100mL 1本 キイトルーダ 200mg/body	側管より 30分かけてDiv	●			●			●			●			
③	生食 50mL 1本	側管より 5分かけてDiv	●						●			●			
④	レスタミンコーワ 50mg (10mg 5T)	化学療法前内服	●	●	●		●	●	●		●	●	●		
⑤	生食 50mL 1本 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	側管より 15分かけてDiv	●	●	●		●	●	●		●	●	●		
⑥	生食 100mL 1本	側管より 30分かけてDiv	●	●	●		●	●	●		●	●	●		
*過敏症予防のために(レスタミン・ファモチジン・デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。															
⑦	生食 250mL 1袋 パクリタキセル 90mg/m ²	側管より 1時間かけてDiv	●	●	●		●	●	●		●	●	●		

キイトルーダ+EC 療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 100mL 1本	ルート確保用	●	休薬
②	生食 100mL 1本 キイトルーダ 200mg/body	側管から30分かけて	●	
③	生食 50mL 1本	側管から10分かけて	●	
④	パロノセトロン0.75mg/バッグ 50mL 1袋 アロカリス点滴静注 235mg ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	側管から 30分かけてDiv	●	
⑤	生食 50mL 1本	側管から10分かけて	●	
⑥	生食 50mL 1本 エピルビシン 90mg/m ²	側管から全開でDiv	●	
⑦	5%G 250mL 1本 エンドキサン 600mg/m ²	側管から 60分かけてDiv	●	

キイトルーダ+wPTX+CBDCA 療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日			
			Day1	8	15	16・21
①	生食 50mL 1本	10分かけてDiv	●	休業		
②	生食 100mL 1本 キイトルーダ 200mg/body	30分かけてDiv	●			
③	生食 50mL 1本	10分かけてDiv	●			
④	レスタミン錠 50mg (10mg 5T)	パロノセトロン開始前内服	●	●	●	休業
⑤	パロノセトロンバッグ 50mL 1袋 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	15分かけてDiv	●			
⑥	生食 50mL 1本 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	15分かけてDiv		●	●	
⑦	生食 100mL 1本	30分かけてDiv	●	●	●	
* 過敏症予防のために(レスタミン、ファモチジン、デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。						
⑧	生食 250mL 1本 パクリタキセル 80mg/m ²	1時間かけてDiv	●	●	●	
⑨	生食 250mL 1袋 カルボプラチン Calvert式 AUC5	1時間かけてDiv	●			
⑩	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	●	●	

キイトルーダ+wPTX+wCBDCA 療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日			
			Day1	8	15	16・21
①	生食 50mL 1本	10分かけてDiv	●	休業		
②	生食 100mL 1本 キイトルーダ 200mg/body	30分かけてDiv	●			
③	生食 50mL 1本	10分かけてDiv	●			
④	レスタミン錠 50mg (10mg 5T)	グラニセトロン開始前内服	●	●	●	休業
⑤	グラニセトロン3mgバッグ 100mL 1袋 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	15分かけてDiv	●	●	●	
⑥	生食 100mL 1本	30分かけてDiv	●	●	●	
* 過敏症予防のために(レスタミン、ファモチジン、デキサート)とパクリタキセルは必ず30分以上あける。						
⑦	生食 250mL 1本 パクリタキセル 80mg/m ²	1時間かけてDiv	●	●	●	
⑧	生食 250mL 1袋 カルボプラチン Calvert式 AUC1.5	1時間かけてDiv	●	●	●	
⑨	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	●	●	

【3 週】キイトルーダ療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	生食 100mL 1本	ルート確保	●	休薬
②	生食 100mL 1本 キイトルーダ 200mg/body	側管から30分でDiv	●	

dose-denseEC

	薬剤	投与方法/投与日	1クール14日		
			Day1	Day3	4.....14
①	生食 100ml 1本	ルート確保用	●		休薬
②	パロノセトロン 0.75mg/バッグ 50mL 1袋 ファモチジン 20mg 1A デキサート 9.9mg (3.3mg 3A) アロカリス点滴静注 235mg 1V	側管から 30分かけてDiv	●		
③	生食 50mL 1本	側管から フラッシュ用	●		
④	生食 50mL 1本 エピルビシン 90mg/m ²	側管から 全開でDiv	●		
⑤	5%G 250mL 1本 エンドキサン 600mg/m ²	側管から 60分かけてDiv	●		
⑥	ジーラスタ皮下注 3.6mg	皮下注		●	

フェスゴ療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	初回 フェスゴ配合皮下注IN 1本 2回目以降 フェスゴ配合皮下注MA 1本	大腿部に皮下投与 初回は8分以上かけて 忍容性が良好であれば 2回目以降は、5分以上かけて	●	休薬
初回投与後から30分間経過観察。 忍容性が良好であれば 2回目以降は、15分まで短縮できる。				

フェスゴ・DOC 療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日	
			Day1	2.....21
①	初回 フェスゴ配合皮下注IN 1本 2回目以降 フェスゴ配合皮下注MA 1本	大腿部に皮下投与 初回は8分以上かけて 忍容性が良好であれば 2回目以降は、5分以上かけて	●	休薬
②	生食 100mL 1本	初回投与後から30分間経過観察 忍容性が良好であれば 2回目以降は、15分まで短縮できる	●	
③	生食 50mL 1本 デキサート 6.6mg(3.3mg 2A)	15分かけてDiv	●	
④	生食 250mL 1袋 ドセタキセル 60~75mg/m ²	60分かけてDiv	●	
⑤	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	

キイトルーダ+GEM+CBDCA 療法

	薬剤	投与方法/投与日	1クール21日			
			Day1	8	15	16・21
				休薬		
①	生食 50mL 1本	10分かけてDiv	●			
②	生食 100mL 1本 キイトルーダ 200mg/body	30分かけてDiv	●			
③	生食 50mL 1本	10分かけてDiv	●	休薬		
④	グラニセトロン3mgバッグ 100mL 1袋 デキサート 9.9mg (3.3mg 3A)	15分かけてDiv	●			
⑤	5%ブドウ糖液 100mL 1本 ゲムシタビン 1000mg/m ²	30分かけてDiv	●			
⑥	生食 250mL 1袋 カルボプラチン Calvert式 AUC2	1時間かけてDiv	●			
⑦	生食 50mL 1本	フラッシュ用	●	●		